

## 平成28年12月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年12月 数量 (トン)	H28年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の販売でした。天候不順により入荷が少なく、相場は堅調に推移しました。	722	90	85%	176%
2		はくさい	10月より単価高が続き、数量増となりました。	709	89	118%	229%
3		きゅうり	千葉県産・宮崎県産・埼玉県産中心の販売でした。前半はやや少な目でしたが、中旬以降入荷量も回復し、安定した販売でした。	250	478	116%	90%
4		ねぎ	埼玉県産中心の販売でしたが、東北産地の残量が例年より多く販売されました。環境も良く堅調に推移しました。	229	359	102%	121%
5		馬鈴薯	8月の台風の影響で北海道内の馬鈴薯の入荷が減少し、相場も高騰して推移しました。	300	201	93%	198%
6	果実	みかん	9月～11月まで愛媛県産を中心として数量減、12月も結果として90%の入荷でしたが、後半の入荷が増え単価を下げる要因となりました。	1,050	269	91%	101%
7		ふじ	台湾輸出の需要が多く、国内への出回りが少なめでした。ただし、上位等級の発生率が少なく、前年の3割高でした。	232	319	72%	120%
8		富有柿	福岡県産・奈良県産中心の販売でした。数量増でした。	156	291	134%	88%